

SPECIAL ARTICLES

Ⅲ群薬の使い方

How to use class Ⅲ antiarrhythmic drugs

高橋 尚彦 Naohiko Takahashi 大分大学医学部循環器内科・臨床検査診断学教授
近藤 秀和 Hidekazu Kondo 大分大学医学部循環器内科・臨床検査診断学
篠原 徹二 Tetsuji Shinohara 大分大学医学部循環器内科・臨床検査診断学

SUMMARY

アミオダロン、ソタロール、ベプリジル、ニフェカラントはいずれもⅢ群薬に分類されるK⁺チャンネル遮断薬であるが、その薬理学的特徴および臨床効果は薬剤間で大きく異なっている。実際に使用して経験してみないとわからないコツやピットフォールも少なくない。

まず、重篤な副作用を避けることを常に念頭に置く。内服薬については、添付文書に記載されている用量は明らかに多い。少量から開始し、副作用の発現がないか注意を払う。アミオダロン内服における間質性肺炎は致命的となるため、少量投与および聴診などによる早期発見によって対処する。ソタロール内服とベプリジル内服はQT延長およびtorsade de pointes (TdP) 発症を予防するため、少量から開始し高齢女性への投与は控える。ニフェカラントは緊急時に使用されることが多く有効性も高いが、TdP発症の可能性も高いため一時ペーシングがいつでも行えるように準備したうえで使用すべきである。

KEYWORD

- K⁺チャンネル遮断薬
- QT延長
- torsade de pointes
- 間質性肺炎